



いのちと人権を学んだ修学旅行

5月23日（木）～24日（金）に広島方面に修学旅行に行きました。目的は3つ。「戦争の悲惨さを広島で見聞きし、いのちと人権を学ぶ」「仲間と協働しながら、自ら考え、行動する」「仲間とともにやり抜く力・自制心・協働性など非認知能力を高める」こうした目的を意識しながら、一連の学習に取り組みました。印象的だったことがありました。

1 「いのちと人権を学ぶ」

被爆電車に乗った時でした。車内にこの電車の説明が書かれていたことに気付き、数人がメモを取り始めました。平和公園でガイドさんに説明をしてもらっている時も、じっと聞き入っていました。被爆者の声を聴く、広島の声聴く。子ども達にとって、貴重な学びの場となりました。

平和ガイドの座間味さんから、「次は君たちが、広島で学んだこと、考えたことを、周りの人に伝えてください。」とメッセージを受け取りました。

自分も大切、他者も大切。これから、いのちと人権の学習は、まだまだ続きます。



2 「どこでも自分からあいさつ」（感謝の気持ちを伝えよう）

バス、電車、ホテル、遊園地・・・。行く先々で元気の良い挨拶をしました。この旅行は、多くの方々にお世話になり、心地よく過ごすことができていることをきちんと理解している子どもが多いなと感じました。

また、ホテル内で少し声が大きくなりそうなときは、「静かにしよう」と正す声が出て、それに素直に従う態度も立派でした。

あわせて、時間前に集合できました。そのおかげで、余裕をもって次の行程に進んだり、お楽しみの活動の時間が増えたりしました。全員で時間を意識しながら行動できたことは、自制心ある立派な姿でした。



今回は広島を訪れ、いのちと人権を中心に学びました。戦争や地域紛争、部落差別、ヘイトスピーチ、LGBTQ、女性や障害者、高齢者等への差別など、いのちと人権の課題は社会にあふれています。子ども達が他者の痛みを自分事として受け止め、考え、行動できるように、学びを続けていきます。ご家庭でもいのちと人権についてぜひ話題にして、身近な大人から学ぶ機会を創ってください。

【心肺蘇生法講習会～教員研修～】

5/15に出石消防署から講師をお招きし、心肺蘇生法講習会を開催しました。子どもが心肺停止になったときに、素早く対応が行えるように毎年講習を受けています。

個々の教員だけでなく、チームで連携した演習も行いました。水泳の時だけでなく、万が一の時に備えています。



↑ AED も活用してチームで対応

自分の命は自分で守る子に～交通安全教室（1年生・3年生）～

5/17 金、豊岡警察署・PTA 愛護部の皆さんのご協力を得て、1年生3年生対象の交通安全教室が行われました。3年生は自転車の点検をし、運動場のコースを実際に乗って正しい乗り方を確認しました。1年生は、横断歩道のわたり方を実際にやってみました。3年生の自転車が走る中、1年生は信号を確かめて、左右の安全確認後手を挙げてわっていました。

学校生活にも少し慣れてきて、横断歩道のない道路を横断したり、信号をよく見ずに渡ったりする場面も見かけ、その都度学校で指導しています。自分の命を自分で守れるように、安全への意識が育つよう、ご家庭でも、地域でもよく言って聞かせてやってください。豊岡警察の皆様、PTA 愛護部の皆様、大変暑い中本当にありがとうございました。



確実に一旦停止します。
歩行者を優先します。



左右の安全を確かめて、手を挙げてわたります。

【本に親しむ子に】

毎月1回、図書ボランティアの皆さんにお越しいただき読み聞かせをしていただいています。また昨年度、150周年記念事業で図書を購入していただきました。

先日、図書室で楽しそうな声が聞こえるので行ってみると、1年生が本を読んでいます。まだ、自分で文字を追って読むことが難しいのですが、絵本や図鑑を自分で選んで、夢中になって見ている姿を見ました。教育環境を整えていただいていますので、これからも本に親しむよう働きかけていきます。



↑ 絵本に夢中の1年生の子ども達